

令和 5 年 11 月 15 日

厚生労働大臣

武見 敬三 殿

公益社団法人 日本精神神経学会

理事長 三村 将

炭酸リチウム錠の安定供給に関する要望書

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素、精神神経科領域の保険診療に対するご理解とご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

双極性障害（躁うつ病、双極症）はおよそ 100 人に 1 人弱が発症する主要な精神疾患の一つです。

双極性障害の治療において主軸となる薬は炭酸リチウムであり、躁状態、うつ状態、予防の全てに有効な薬として、国内外の全ての治療ガイドラインにおいて、第一選択薬の一つに位置づけられている薬です。

日本で昭和 55 年に発売が開始された炭酸リチウムは、WHO（世界保健機関）がリスト化している、基本的な医療に最低限必要な医薬品（エッセンシャルドラッグ）、約 300 の中に含まれていますし、日本でも、2021 年 3 月に、医療上必要不可欠であって、安定確保が求められる安定確保医薬品（カテゴリーC）に分類されました。当学会においても、精神神経疾患領域で最も安定供給が必要な 10 の薬剤の一つと位置付けております。

昨今、リチウム電池による需要の高まりによる、炭酸リチウム原料の高騰が報じられております。そのためもあつてか、田辺三菱製薬株式会社は炭酸リチウム錠「ヨシトミ」に関して諸般の事情により製造発売中止に向けた手続きを開始する予定であり、共和薬品工業株式会社は炭酸リチウム錠「アメル」を 2024 年 5 月頃に発売を終了すると発表し、患者さんの間でも、炭酸リチウム錠が服用できなくなってしまうのではないかという不安が高まっています。

残っているのは、大正製薬株式会社のリーマス錠 100・リーマス錠 200、株式会社トクホンの炭酸リチウム錠 100mg「大正」・200mg「大正」、藤永製薬株式会社の炭酸リチウム錠 100mg「フジナガ」・200mg「フジナガ」です。

他社も昨今の急激な物価高騰や為替変動等の影響を受け、原材料費や光熱費が高騰した結果、現在の薬価では採算性に問題が生じており、安定供給に支障をきたす恐れがあるということから、追従する可能性が高くなっております。

炭酸リチウムは、精神神経科領域において、双極性障害治療のためになくはならない医薬品です。

これまで、日本うつ病学会、日本神経精神薬理学会、日本臨床精神神経薬理学会の3学会が安定供給に関する要望書を提出しておりますが、我々日本精神神経学会としても、同様に是非とも今後も炭酸リチウム錠製剤を継続的に安定供給できるよう、薬価基準の改定につき、是非とも高配を賜りますようお願い申し上げます。

何卒、炭酸リチウムの継続的な安定供給に対してご配慮を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

謹白